

【取組内容⑤】 Microsoft PowerPointを活用した地域の人々に発信する活動

近隣のこども園の園児を学校に招き、学習したことを端末で伝え、地域の人々に発信する活動

本事例は、第5学年の総合的な学習の時間での実践である。

単元のテーマは「フードロス」。毎日の給食からの残菜に着目し、どのようにすれば残菜を見直す活動になるのかを、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現の探究的な学習で進めていき、一人一台端末を活用しながら伝える相手（園児）に適した資料を作成する。（来年1年生になること、小学校では給食があることを伝える）



単元名：フードロスについて自分たちができることを考えよう。

内容：(1) 目標 (2) 主な活動 (3) 児童の振り返り (4) 今後の予定

(1) 目標

「フードロス」というテーマで、自分たちで課題や取り組む活動、学習の方法などを決め、伝える相手のことを考慮しながら活動を進める。

(2) 主な活動

1. 校内のフードロスについて調査、活動内容を考え学習計画をたてる。
 - ・一人一台端末で学習計画を作成する。
 - 可能な限り、児童が学習方法や時間配分などを調整する。
2. 校内や地域に向けて、自分たちができることを考え、発表資料を作成する。
 - ・Teamsで、給食委託会社の方とオンライン授業。
3. 作成した資料をもとに、伝えたい相手に発表する。
 - ・PowerPointで資料を作成し、近隣のこども園の園児に伝える。

(3) 児童の振り返り（園児との交流を終えて）

- ・園児にわかりやすいように、イラストや図を使うことができました。でも、声が小さくてうまく伝わっていかぬ気がします。
- ・フードロスという言葉は難しいけど、いっしょに給食を残さず食べることができてよかったです。

(4) 今後の予定

1年間活動してきた内容を、家庭や地域に発信する。